



アミール・ツアルファティ

[2024年9月23日 ニュース速報]

<https://youtu.be/7-6LF12rHGk>

シャローム、皆さん。アミール・ツアルファティです。速報です。Telegram でフォローしていただいているか分かりませんが、一番最後から始めます。ちょうどココネクトの前に連発されたロケット弾が落ちてきて、そのうちの 1 つが私の住む町の中に落ちたということです。感謝なことに、全員が無事であることを確認できました。みんなこの出来事にかなり驚いていますが、今は大丈夫です。しかし、この数日間に、いえ、失礼、この数時間内に、何が起こったかという、今朝午前 7 時頃、イスラエルはヒズボラに対し、我々と戦うよりも、実際に外交的解決に向かう方が得策である理由を教え始め、私たちは、レバノン南部で 4 度にわたって攻撃を行いました。攻撃の前、私たちは、まだ村に残っている人ら全員に、立ち退く必要があることを警告しました。そしてつい先ごろ、イスラエル国防軍の報道官、ダニエル・アガリ少将は、ベカー渓谷の人々に呼びかけました。そこは国の北東部に位置し、ヒズボラの拠点でもあります。彼は通告しました。「あなたたちも、1 時間以内に立ち退いてください。私たちはロケットのある場所も、ドローンのある場所も、巡航ミサイルのある場所も知っている。ヒズボラに、武器を保管する部屋を借している者、ヒズボラが居る家に住んでいる者、ヒズボラがいる家の隣に住んでいる者は、確実に被弾します。だから、立ち退きなさい。」現在、ベイルートに向けて、数十万人が集団で脱出しています。レバノン南部の人々はベイルートに北上し、東にいる人たちは、ベイルートへ向かって、西に移動し、ベイルートには今、たくさんの人が集まっています。

さて、死傷者ですが、まず、レバノンではすでに 300 人が死亡し、1,000 人以上が負傷しています。ちなみに、その中にはヒズボラの高官もあり、宗教聖職者や司令官を含むヒズボラの高官が死傷しました。ネタニヤフ首相は国防相や参謀長らとともに、テルアビブの地下基地、イスラエル国防軍司令部からこの作戦を実行しています。これまでにイスラエルによる空爆は 600 回以上で、今、昼間でその状況ですから、おそらく今日の終わりには、1,000 回の空爆に達するでしょう。私たちは、今日の

終わりまでに、ヒズボラの能力の 3 分の 1 を破壊することを目指しています。ヒズボラはここに大量の武器を持っています。イランが彼らを徹底的に武装させており、彼らは非常に強力です。私たちは彼らを軽視したり、過小評価したりしません。しかし、私たちは、ポケベルやトランシーバーの一件があり、また、金曜日にはラドワン軍の上位指揮官らが排除されて、現在、彼らが陥っている混乱を利用して、ヒズボラは現在、現場の指揮官と会話するなどの簡単なことを行うのが極度に困難な状況にあります。彼らは、システムを利用するのに、非常に疑心暗鬼になっているからです。

イスラエルはラジオ、テレビ、固定電話のシステムに侵入することに成功し、私たちは彼らに立ち退くよう伝えています。私たちは彼らに SMS を送り、彼らの自宅に電話をかけ、彼らのラジオ電波に乗り、彼らのテレビに登場して、彼らに通告しています。さて、大量虐殺をするなら、「命が助かりたいなら立ち退きなさい」とは告げません。私たちは基本的にレバノン人に対し、こう告げています。「自分の命を愛するなら、ヒズボラが武器を隠している地域から逃げなさい。」

ちなみに、イスラエル国防軍の報道官は、次のように述べました。「我々が破壊している兵器は、我々を狙って攻撃する用意のあるものだ」私たちは、彼らが私たちを攻撃するのを待たず、今、それらを破壊しています。

今、私の町を襲ったこの集中砲火は、...ご存じのとおり、私は空軍基地の隣に住んでおり、皆さんもいつも F-16 の離着陸音を聞いていますが、この集中砲火はその空軍基地を狙ったものでした。そして不幸なことに、私の町はロケットの着弾に見舞われました。私はここにおいて、私の机から、向こう側に溪谷が見えます。溪谷は私の後ろにもありますが、向かい側の溪谷にはその空軍基地があって、私は、ロケットが落下したのを目撃し、また、その音も聞こえました。そして煙が立ち上るのが見えました。私たちがいた所では、警報が聞こえませんでした。この時、私たちは気づいて、この建物に入っている全オフィスで共有する防空壕に行くことにしました。もちろん、家族から電話が入りました。容易なことではありませんが、数日前の夜にすでに防空壕に入っていてよかったと思います。そのため、このシナリオに対する精神的な準備ができていましたから。

私たちは...聞いてください。これから数時間以内に、ヒズボラによる大規模な攻撃と、イスラエルへのロケット弾の集中砲火が予想されます。そして間違いなく、ヒズボラは今、猛攻撃を受けています。フラグが立てられるため、ここではビデオをお見せすることはできません...何と言ったらいいか...私た

ちの視聴者の中には、私たち、あるいは私を愛していない人たちがいます。そのため、爆撃や負傷者、爆発などを映したビデオがあると、彼らはフラグを立てて、暴力だとか何とか、色々言うのです。そのために、私は テレグラム チャンネルを持っていて、そして、まさにこのために、皆さんにこの QR コードのスクリーンをお勧めするのです。そこに、たくさんのビデオがあります。皆さん、それらのビデオは、私たちが適切な場所を攻撃していることを示していて、ビデオから、我々が、ロケット発射台がある場所を攻撃していることがわかります。どうして分かるのか?我々が攻撃した瞬間に、ロケットが外に飛び出し始めるからです。我々が攻撃して命中した瞬間、数分間弾薬が爆発しているのを見ることができます。つまり、ここでは真実から逃げられません。イスラエルはここで侵略者ではありません。我々は彼らに立ち退くよう警告しました。私たちは彼らに攻撃をやめるよう警告しました。10月8日以来、9,000発を超えるロケット弾や無人機がイスラエルに向けて飛来し、数十人が死亡し、ご記憶のとおり、その中には数か月前の12人の子供が含まれています。ですから、私たちが今していることは、北部からの避難者全員を、自宅に戻すことを目指しているのです。そして、それを実現する唯一の方法は、ヒズボラを追い込み、そのテロ集団の能力を剥奪することです。間違いなく、ヒズボラはアイデアとして残るでしょう、しかし、私たちは彼らの能力を奪いたいのです。私たちは、ガザでもそれをやっています。

ガザといえば、指導者ヤヒヤ・シンワールの消息がここ数週間不明となっています。そして数週間前、私たちは彼が以前にいたと思われる地域を爆撃しました。そのため、彼が負傷したのではないかという疑惑も浮上しています。彼は死んだのではないかとさえ言う人もいます。もしかしたら彼は死亡したのかもしれませんが。私たちには分かりません。しかし、私たちが、ガザ地区南部のその地域を攻撃して以来、ここ数週間、彼は全く連絡がつかず、沈黙していることは間違いありません。

明日、可能であれば、すべてを網羅した、包括的な中東アップデートをお届けします。ただ、今はどうか、2つのグループのために祈って、祈って、祈ってください。イスラエルの人々のためには言うまでもありませんが、無関与のレバノン人クリスチャン、ドゥルーズ派、ヒズボラを望まない、現地のイスラム教スンニ派のためにも。ヒズボラは、イランが彼らにもたらした災難です。彼らが負傷しないことを祈るだけでなく、彼らが立ち上がって、勢いを利用し、実際に内部からヒズボラを攻撃す

る力が得られるようにも、お祈りください。それが私の祈りです。このヒズボラ打倒がレバノン国内から生まれますように。

ということで速報です。イスラエルはレバノン南部とベッカー渓谷を破壊しています。600回以上の空爆で 300 人以上のレバノン人が死亡しました。そのほとんどがヒズボラの間かその支持者で、自宅に武器やロケット弾、ドローンを持していました。我々は発射機、ロケットを破壊し、我々はドローンを破壊し、あらゆるものが保管されている施設を破壊しています。私たちは彼らのラジオ、テレビ、固定電話をハッキングして、彼らに対し、レバノン南部とベッカー渓谷にある家を離れるように通告しています。そのため、南と東から西海岸に向かってベイルートまで大量の人々が流入しています。そして病院は人でいっぱいです。血液が不足しています。基本的に、我々はレバノンに対してこう告げています。今は、ヒズボラだけを攻撃しているが、あなたが彼らを抑えなければ、私たちは、レバノン国家の重要な資産を攻撃せねばならないかもしれません。

そして忘れてならないのは、ヒズボラがベイルート内にいくつかの戦略兵器を隠していることです。そして私たちは、その場所を正確に知っています。ネタニヤフ首相は、こうした場所を、国連総会の舞台上で何度も暴露しました。

ですから、戦争が始まって以来、最も激しい戦闘の日です。これはレバノンで起きています。私は大量のビデオ、大量の写真、たくさんの情報を持っています。繰り返しますが、私がこのニュース速報を始めたのは、ロケットが私たちの目の前に落ちたからです。そして、そのうちの 1 つが、私がコネクトにいる間に私の町に落ちました。感謝なことに家族は無事です。しかし、彼らはこの出来事に動揺していました。状況が許せば、コネクトからバリー牧師と Q&A をする予定です。すでに準備ができています。でも、ここで出来なければ、自宅でやろうと思います。しかし、もし私が防空壕にいる必要があれば、できません。イスラエル時間の午後 8 時になるとわかります。私がライブ配信するなら、問題ないということです。

繰り返しますが、イスラエル北部と、この谷にも数発のロケット弾が落下しました。しかし、話はここで起こったことではありません。ちなみに、怪我人はほとんどありませんでした。話は、レバノンで何が起きているのか、です。先ほど、イスラエルは 600 以上の標的を攻撃し、300 人以上のテロリストを殺害、1,000 人以上を負傷させました。そしてイスラエルは武器の保管場所を襲撃しています。巡航ミサイル、ドローン、発射機が家の中に隠されている場所です。信じがたいことです。レバノン南部では 3 軒に 2 軒の割合で、家に武器が保管されています。したがって、我々が今していることは、ヒズボラ的能力をはぎ取る試みで、我々が戦争を開始して戦車を投入した時点で、すでに戦力が弱く、強く応戦できなくすることです。それを、今、私たちは行っています。私たちには皆さんの祈りが必要です。私たちは、これから、非常に激しい戦いの日々を迎えます。きっと、ロケットが私の周りに落下するでしょう。きっと、防空壕の中で何時間も過ごすことになります。イスラエル北部は、確実にその影響を受けるでしょう。もし、ヒズボラが長距離精密誘導兵器を使用すれば、テルアビブにまで影響を与えるかもしれません。容易ではありません。容易ではないことは、皆、承知しています。首相は国民に語りかけ、国防大臣、イスラエル国防軍の報道官は、レバノン人に次のことを明確に語りました。「ケガをしたくないなら、ヒズボラが武器を保管している全ての場所から立ち退きなさい。」

皆さん、私たちは戦争に突入しようとしています。私たちはそれを戦争とは呼びませんが、それはすでに戦争です。そして今日、それが始まりました。ここ数日間私たちが行ったことはすべて、今日に向けての準備でした。そして、この時点から来週辺りまで、我々は、ヒズボラが現在持っている能力を奪うために、段階的に攻撃を強化する予定です。そして、彼らが私たちに向けて発射する可能性のある物体を減らします。物体とは、つまり、ミサイル、ロケット、ドローン、そしてもちろん、携行型ミサイル、巡航ミサイル、対戦車ミサイルなど、全てです。そして、時がくれば、既に国境にいる装甲旅団に続いて地上軍が入り、そこら辺に隠れている本物のテロリストを攻撃します。誰も言いませんが、戦争は始まりました。我々は宣戦布告をしていません。私たちが宣戦布告をしていない理由は アメリカ政府が戦争を望んでいないからです。しかし、私たちには自衛する権利があることは誰もが知っています。私たちは、もうほぼ 12 か月間、9000 個以上のドローン、携行型ミサイル、中距離ミサイル、短距離ミサイル、長距離ミサイルなどによって、攻撃を受けてきました。ヒズボラは、

理由もなく攻撃を始めたのです。パレスチナ人を助けるために。そのために、彼らは今、自らの国を破壊しています。彼らは、私たちが自宅から追い出そうとしましたが、私のテレグラムチャンネルを見たら、今、レバノンの東部と南部から、ベイルートに向かって脱出が起っています。しかし、そこに、彼らの居場所はありません。

ですから、皆さん、今は非常に困難な日々ですが、私たちは皆、これを通過せねばならないことを知っています。また、皆さんに知ってもらいたいのは、聖書的に、私は何度も言いましたが、私たちは、基本的にイランの代理勢力を破壊しています。したがって、イランは将来、トルコやロシアなど、強国との連合に参加することを強いられます。なぜなら、その代理組織に頼れなくなるからです。ここ数日間、イラク民兵組織は、巡航ミサイルやドローンをイスラエルに向けて発射しています。彼らが今やっていることは、ヒズボラがハマスに対して行ったことと同じです。彼らは、攻撃を受けている者を助けます。ですから、我々がハマスを攻撃すると、ヒズボラがハマスを助けるために戦争に参加し、今は、我々がヒズボラを攻撃しているので、イラクの親イラン民兵組織も攻撃して来るのです。そうすると、我々が現在ヒズボラに対して行っていることを、我々は、イラク民兵やイエメンに対しても行わざるを得なくなり、イランは最終的に、より大きく、より強い国以外に頼れる者がなくなるのです。しかし、それは、1日では起こりません。

ですから、私たちは信じられないものを見ているのだと思います。しかし、私は驚きもしません。今、さらにロケットが飛んできています。今回はハイファ地区です。もしかしたら、...今はハイファの北です。彼らはラファエル軍需産業を攻撃しようとしています。はい、ハイファの北に向けてまた集中砲火です。アッコとその辺り全体です。しかし、繰り返しますが、ロケットが発射されると、それが着弾する可能性のある場所の名前がわかります。私は今、そのリストを見ていて、自分の町がリストに追加されたら、すぐに防空壕に行かなければなりません。今のところ...私たちの地域ではありません。もっと地中海に近い地域です。今また別の集中砲火です。今聞こえました。ロケットが落下する音が聞こえます。おお。わお。あれは...5...6...78...9...10...11...12...はい、ロケットがさほど遠くない所に落下しています。うん。



というわけで、戦争です。これが戦争というものです、皆さん。そして先ほども言いましたが、約 20 分前に私の町を直撃しました。ヒズボラは今…ああ、また集中砲火です。ヒズボラは今、ようやく応戦しています。あれが聞こえますか？うん。はい。ヒズボラは現在、イスラエル空軍による史上最も激しい攻撃に対応しています。繰り返しますが、私のテレグラムには、ビデオや映像、その他あらゆるものが満載です。ネタニヤフ首相は「これは始まりに過ぎない」と述べました。そしてこれは本当に、始まりにすぎません。繰り返しますが、1 から 10 で言えば、現時点では、まだ 4 にすぎません。5 と 6 になって…はい、煙が立ち上っているのが窓から見えます。

はい。ともかく、いよいよです、皆さん。今は 4 です。5、6、7 まで少しずつ上げていきます。そして繰り返しますが、最終的には…もし彼らが諦めないなら、私たちは戦車を出動させて特殊部隊を投入し、レバノン南部を実際に占領しなければなりません。そこを一掃して、イスラエルに存亡の脅威を与えないようにするためです。丸一年避難している住民を帰宅させるには、それしか方法がありません。決して私たちが始めたわけではありません。私たちは、それは望んでもいませんでした。しかし、それに対処する時が来ました。イスラエル北部が、廃墟になっていますから。そこは焼け、破壊され、絶望的です。我が国は、あの貴重な部分を放棄することはできません。私たちはそんなことはしません。いいですね？彼らには、権利がありません。そもそも、彼らには、この戦争に参加する権利はないのです。そして、私たちがそれを許し、応戦しないと考える権利さえ彼らにはありません。すべてがどのように始まったかを思い出してください。彼らは今、その代償を支払っていることを覚えておいてください。そして、これはほんの始まりにすぎません。

やはり、私は家に帰らないといけないかもしれません。なぜなら、今現在、地中海にロケット弾が落下してきていて、隣の谷にもロケット弾が落ち、そして私たちの上にもロケット弾が落ちてきているからです。つまり、この 40 分間で、実際にロケットが私たちの周囲と私たちの町自体の中に落ちてきています。だから、おそらく、私はすぐに帰らないといけないでしょう。このビデオを拡散してください。イスラエルのために祈ってください。

そしてまた、テレグラムで...ところで、感謝なことに、やっと、私のテレグラムチャンネルが認証されました。もう、詐欺師に惑わされる必要はありません。今、私の名前の横に青いチェックマーク、青い認証マークが表示されています。それが公式チャンネルの証拠です。他の人をフォローしないで

ください。彼らはお金を求め、実在しないアフリカの孤児院への寄付を求めたり、仮想通貨への投資を求めたりします。彼らは、世界のさまざまな地域、主にアフリカからの詐欺師です。警告しておきますが、正しいチャンネルをフォローしてください。私の名前の横に青いチェックマークが付いていて、すでに 57 万 3 千人のフォロワーがいます。

他に何か、皆さんが知っておくべき事はあったかな…今のところ、これがすべてです。繰り返しますが、ロケットが私の周りに落下しました。感謝なことに私は無事です。しかし、主要な話はここで起こったことではなく、レバノンで今起きていることです。

ぜひお勧めします...ここではビデオをお見せできません。ここでビデオを表示するたびにフラグが立てられるため、テレグラムに掲載しています。ですから、テレグラムに行ってください。信じられない映像です。私は自分が見たものを信じられませんでした。ぜひ見てください。私たちは文字通りに、彼らのラジオ局の電波を乗っ取ったのです。そして私たちは彼らに伝えています。「もしあなたがヒズボラの一員なら逃げろ。」私たちは固定電話を乗っ取り、私たちは乗っ取って...とにかく、彼らはあちこちからメッセージを受けて、今、レバノンのさまざまな地域、南部や東部からベイルートに向かって、人々の大規模な流出が起きています。そして、ヒズボラはレバノンに破壊をもたらしています。もし、彼らが今すぐにやめず、2006 年に国連が与えた、国の南部から完全に退くという決議 1701 号の条件を受け入れなければ、最終的には破壊され、彼らとともに、国全体も破壊されるでしょう。それは私たちが全く望んでいないことです。私たちは、無実のレバノン人が一人としてこのような目に遭うことを望んでいません。私たちはレバノン人が大好きです。そして私たちはレバノンを愛しています。私はそこは世界で最も美しい国の一つだと思います。私はそこに訪問したいとも思っています。その国が滅ぼされることなど、私は全く望んでいません。しかし現在、イランが運営し、イランの資金提供を受けるナチスに非常によく似たシーア派宗教狂信組織が、この国を乗っ取っています。そのため、今の状況なのです。そして彼らは、私たちに脅威を与えています。私たちは、これを求めたことはありません。私たちは、こんなことは望んでいません。そして見てください、私はここにいる、私は何もしていないのに、ロケットが私の周りに落下しているのです。私たちのために続けてお祈りください。またお知らせします。





アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル

ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.

---

